

平成 28 年度 新宿駅周辺防災対策協議会訓練 実施概要

新宿駅周辺防災対策協議会

新宿区危機管理担当部危機管理課

1 目的

首都直下地震発生時の人口・商業業務機能が集中する新宿駅周辺地域における混乱防止と被害軽減に向けて、地域や防災関係機関の連携強化及び自助・共助を基本とする地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を新宿駅東口地域及び西口地域において実施する。

2 基本方針

「新宿モデル」（情報収集伝達、避難誘導支援、医療連携、建物安全確認のしくみづくり）の実現に向けて、新宿駅周辺防災対策協議会を中心に各事業者や施設等における災害対応、地域連携による情報収集伝達や医療救護などの「自助」及び「共助」を基本とする訓練を実施する。

3 実施日時及び場所

- (1) 実施日時 平成 28 年 11 月 10 日（木）
東口地域 13:00～16:00（調整中）
西口地域 13:30～17:00
- (2) 実施場所 東口地域：新宿区役所第一分庁舎 1 階、東京都健康プラザ ハイジア
西口地域：工学院大学新宿キャンパス、他

4 訓練想定

首都直下地震が発災したと想定して訓練を実施する。

発災直後の状況及び発災後一定程度時間が経過した状況を想定して訓練を実施する。

5 訓練概要

(1) 東口地域 地震防災訓練 (予定)		
10/27 (木)	事前訓練	様々な状況を想定した図上訓練を事前実施 (訓練事前説明会とあわせて実施) 日時: 10月27日(木) 13:15~16:00 (調整中) 会場: 人材育成センター研修室A (西新宿七丁目5番8号)
11/10 (木)	① 現地本部の設置及び運営訓練	[新宿区役所第一分庁舎1階] ・東口現地本部の立上げ、情報共有・伝達訓練 ・西口現地本部、新宿区災害対策本部との通信訓練
	② 負傷者搬送訓練	[第一分庁舎から東京都健康プラザ ハイジア1階] ・負傷者の搬送の順位判定 ・東口現地本部からハイジアまでの負傷者搬送訓練 (ダミー人形での搬送)
	③ 負傷者対応訓練	[東京都健康プラザ ハイジア] ・応急救護所(仮)及びトリアージポストの設置 ・新宿区医師会と大久保病院の医療従事者によるトリアージ、中軽傷者の応急手当訓練 ・重傷者の大久保病院への搬送及び医療処置訓練
(2) 西口地域 地震防災訓練 (予定)		
11/1 (火)	訓練参加者説明会	訓練参加者を対象に、訓練の詳細および参加者の役割分担を確認するための説明会 日時: 11月1日(火) 14:30~17:00 会場: 工学院大学新宿キャンパス 高層棟5階A0511会議室他
11/10 (木)	① 自衛消防訓練 (震災対応訓練)	[工学院大学新宿キャンパス] 地震発災直後および発災数時間後の場面を想定した訓練 ・自衛消防隊(本部隊・地区隊)編成、災害対策本部立ち上げ ・火災対応(火災の確認、初期消火)・避難誘導 ・閉じ込め者対応(閉じ込め者の確認、救出) ・傷病者対応(傷病者の確認、応急手当、チェックシートを用いた観察記録、情報伝達、応急救護所立ち上げ、搬送) ・建物被害対応(被害の確認、記録、建物残留可否判定、建物内部使用性判定)・被害情報の把握・西口現地本部との情報共有
	② 医療救護訓練	[工学院大学新宿キャンパス] 発災数時間後以降の場面を想定した訓練 ・仮想緊急医療救護所立ち上げ ・医療従事者によるトリアージ、診察、搬送決定 ・傷病者の応急手当、搬送 ・情報収集・伝達、医療救護本部との連絡、重症者搬送先確認 ・仮想医療救護所との連絡、重症者搬送先指示
	③ 西口現地本部訓練	[工学院大学新宿キャンパス] 発災数時間後以降の場面を想定した訓練 ・西口現地本部立ち上げ ・地域内事業所や関係機関との通信、情報共有 ・被災状況把握・事業者への情報提供 ・一次滞在施設の提供 ・物資、人材等調整
	④ 講習会	[工学院大学新宿キャンパス] ・講習、アンケート調査

6 参加及び協力団体（予定）

新宿駅周辺防災対策協議会参加団体及び関係事業所、新宿区医師会、東京医科大学病院、東京女子医科大学病院、国立国際医療研究センター病院、大久保病院、日本赤十字社東京都支部、新宿消防署、四谷消防署、新宿警察署、四谷警察署、工学院大学、東京都健康プラザハイジア、東京都、東京建築士会、危機管理対策機構、鱒沢工学研究所、白山工業株式会社、株式会社セノン（順不同）

7 主催

新宿駅周辺防災対策協議会、新宿区